

人生を輝かせる山登りのススメ(第54回)

御嶽山でボッカの手伝い

2019.11.26



疲れて到着する登山者をいつもおいしい料理と快適な布団で迎えてくれる山小屋。登山者にとって頼りになる山小屋は、日々、より良いサービスを提供するために電気や水の確保、調理、清掃など多くの仕事を忙しくこなしています。そんな山小屋の仕事の中でも特に重労働なのが「ボッカ」という人力による荷揚げ。麓から山小屋まで物資を運ぶことがどれほど大変なのか……御嶽山の山頂直下にある山小屋、二の池ヒュッテのボッカ体験を通じてお伝えします。

ボッカは山小屋の重要な仕事の1つ

御嶽山は昨年の秋、久しぶりに登って以来(そのときの様子は第42回「噴火から4年が経過、御嶽山の今」参照)、私にとって親しみのある山になりました。その理由の1つに二の池ヒュッテのオーナー、高岡ゆりさんの存在があります。

高岡さんは金峰山(奥秩父/2599m)の山小屋で仕事の経験を積み、2018年に前オーナーから譲り受ける形で二の池ヒュッテの経営者となりました。高岡さんとは友人の紹介で知り合ったのですが、私も山小屋で働いた経験があつて仕事の大変さがある程度分かるし、同世代ということもあつてすぐに意気投合。以来、親しくさせてもらっています。



高岡さん(左)と著者・小林(右)。後ろは三ノ池

9月末のこの日、私は1週間後に控えた登山イベントの下見で御嶽山に登るつもりでした。そこで高岡さんに連絡したところ、高岡さんも用事で町に下りていて、ちょうど同じ日に二の池ヒュッテへ上がると言います。私たちは一緒に御嶽山に登ることにしました。

高岡さんがヒュッテへ上がるときは、空身(からみ／「体1つで」という意味)ということはありません。食料や水などの消耗品は主にヘリで荷揚げをしていますが、ヘリ会社のスケジュールや費用の面で、飛ばせる回数には限りがあります。そこで間に合わない分を、ボッカしているのです。それなら！と買って出て、私もボッカを手伝うことにしました。



食材や飲料水などを山の上の山小屋まで担ぎ上げる

背負子(しよいこ)を担ぐにはコツがいる… 続きを読む